

平成29年度行政評価シート【個表】

平成 29 年 6 月 22 日

評価対象事業		評価者	道水路管理課担当課長 芳賀 哲夫		
都整-05	実施事業	道路施設管理事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課	道水路管理課
			<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課	
総合計画上の位置付け	分野	道路整備	施策の方針	道路・橋りょうの整備・維持管理	

1 事業の目的

2 平成28年度に実施した事業の概要

対象	市民等	道路利用者の安全性・快適性を保ち良好で円滑な道路機能を保持するための業務を行った。
意図	道路機能を良好に保持するため。	
効果	多様化する生活環境や市民等の安全性・快適性の向上を図るため、常に良好で円滑な道路機能の保持を図る。	

3 事業費等基礎データ

人口等のデータ	データ区分	27年度決算	28年度決算	データ区分	29年度当初予算	備考
	人口	177,243人	176,869人	人口	176,466人	
世帯数	80,676世帯	80,928世帯	世帯数	81,150世帯		
事業の対象者数			事業の対象者数			
運営資源状況	決算値(千円)	98,397	96,076	当初予算(千円)	124,801	
	国県支出金			国県支出金		
	地方債			地方債		
	その他	44,264	88,766	その他	77,761	
	一般財源	54,133	7,310	一般財源	47,040	
	人員配置数	5.6	5.6	人員配置数	5.6	
事業経費運営	人件費(千円)	44,202	43,408	人件費(千円)	45,576	
	総事業費(千円)	142,599	139,484	総事業費(千円)	170,377	
	市民1人当りの経費(円)	805	789	市民1人当りの経費(円)	965	
	対象者1人当りの経費(円)			対象者1人当りの経費(円)		

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、ブルダウンで選択。

効率性	事業費に削減余地はないか	1. ある
	関連・類似事業との統合はできないか	2. 統合に向けた検討は可能
妥当性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きいのか	2. 廃止・休止による影響は小さいがある
有効性	今後市が実施すべき事業か	5. 豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
	事業の成果は得られているか	2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である
公平性	事業の上位施策に向けた貢献度は大きいのか	4. 事業の方向性や手法も適切であり、大きく貢献している
	受益者負担は公正・公平か	△.負担未導入 △-3. 受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない
協働	市民等と協働して事業を展開しているか	△.協働未実施 △-1. 今後、市民等との協働による事業実施に向けた検討が必要である
		協働実施済の場合のパートナー
事業内容の方向性	<input type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す → <input checked="" type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする <input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する <input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する →	見直しの種類 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他 見直しの内容 事業へ統合
予算規模の方向性	<input type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする <input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由 委託業務削減の余地はあるが、管理施設の増加と多様な住民要望に対し、経費削減に努めながら、予算規模については現状を維持する。
総評(評価に対する考え方、根拠等)	・要望対応の効率化を図るため、委託方法などを検討する。 ・多様な住民要望に応えるため、有効性を高める努力は必要である。 ・要望方法など、市民との協働の方策を検討する必要がある。	

平成28年度事業実施にあたっての課題(前年度未解決の事項を含む)	大船駅東口及び西口ペDESTリアンデッキ並びに交通広場の利用者の安全性・快適性の向上が必要である。	
課題解決のために行った平成28年度の取組	委託業務を一部統合し、経費削減に努めた。また、監視・清掃等業務委託の充実と職員による定期的な巡回を実施した。	<input checked="" type="checkbox"/> 解決 <input type="checkbox"/> 一部解決 <input type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	作業センターの人員不足により、市民要望に応じた対応が図られていない。	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項								
団体名								
他市実績								

比較事項								
団体名								
他市実績								

比較事項								
団体名								
他市実績								

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方								
----------------------	--	--	--	--	--	--	--	--

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	要望処理率	単位		指標の傾向		備考	
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31
適切に処理(委託・作業センターや下水道河川課などへ振り分け)が出来ているか。	目標値	635	634	621			
	実績値	635	634	621			
	達成率	100.0%	100.0%	100.0%			

指標の内容		単位		指標の傾向		備考	
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31
	目標値						
	実績値						
	達成率						

指標の内容		単位		指標の傾向		備考	
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31
	目標値						
	実績値						
	達成率						

当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方							
-----------------------	--	--	--	--	--	--	--